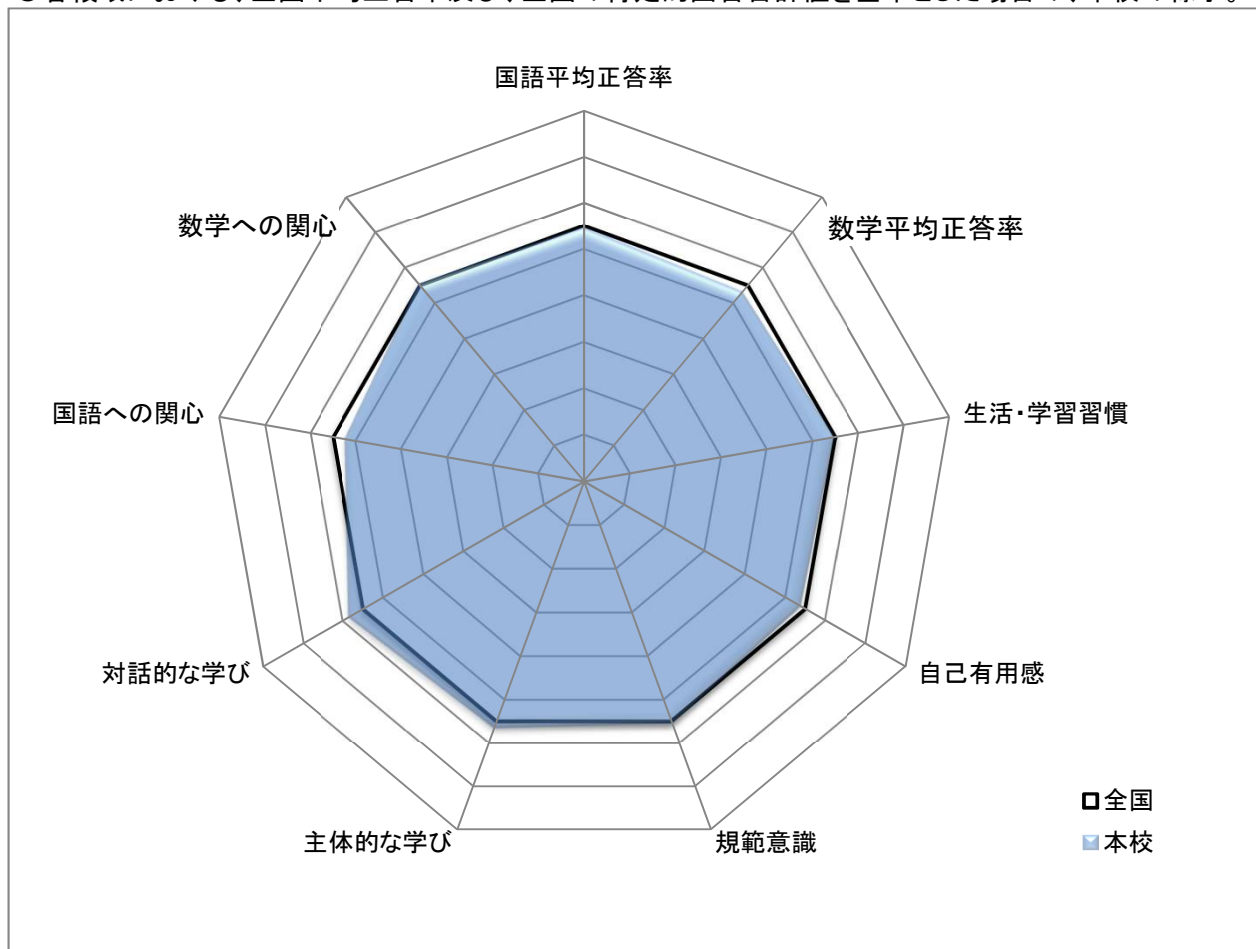


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・関心度の項目では国語・数学とも「教科の勉強がとても大切」「将来社会でとても役立つ」と回答した生徒が全国平均よりかなり多い。
- ・規範意識、対話的な学びはすべての項目で肯定的な回答の合計値が全国平均を上回っている。学級でよく話し合い、決めたことをやり遂げようとする規範意識の高い生徒像が見られる。
- ・家庭での学習時間が全国平均に比べて少ないことで学習の継続、基礎学力の定着・習熟が思うように図られていないと考えられる。
- ・読書科で行っている調べ学習が総合的な学習での取組として回答に反映されていないのが残念である。

《授業改善のポイント》

- ・教科学習の重要さや効果を感じていることから継続的な学習の機会を持たせ、できた・できると思わせるようスモールステップで進めていくことが効果的であると思われる。
- ・数学での解法が分かりやすいノート記載、国語での文章で書く問題への取組など肯定的な回答の合計が全国平均を高く上回っている点などから指導の効果を表していることもあり、継続的な指導を大切にしていく。
- ・数学では少人数授業を活用して、一人一人の状況に応じて学習の理解度を深めていくよう指導していく。
- ・家庭での学習時間を確保するために、今後も長期的計画的に課題を課していく。また提出を促していく。
- ・さらに自分で学習できる方法の理解と指導を促進し、自主的に学習を進めていく力が付くように指導していく。

《チャートの特徴》

- ・全体的に全国の平均値と同程度である。特に「対話的な学び」と「主体的な学び」肯定的な回答の合計値が全国平均の肯定的な回答の合計値を顕著に上回っている。
- ・国語への関心は全国平均を100としたときの95とやや下回っているが、平均正答率はほぼ全国並みである。
- ・数学の平均正答率は全国平均正答率を100としたときの96とやや下回っているが、関心は全国平均をやや上回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・「規則正しい起床就寝の時間と朝食」の項目は全国平均をやや下回っているので、改善を進めていく。
- ・家庭での学習時間と学習環境の確保にもさらに推進が必要である。
- ・読書科学習を始めとする調べ学習において地域の図書館の利用をさらに推奨する。